

【地方創生】市民アンケート調査結果（概要版）

平成30年3月
山 鹿 市

【地方創生】市民住民アンケート調査結果概要

1. アンケート調査の目的

総合戦略については、年度ごとの進捗管理を行い、適宜計画の変更、見直しを行いながら総合戦略に掲げた目標の達成を目指す。進捗管理の中で、担当課による内部検証と併せて、市民の認知度、満足度、KPIの達成状況を把握し、次年度以降の計画に反映させることを目的としたもの。

2. 調査対象

山鹿、鹿北、菊鹿、鹿本、鹿央各地区の人口割合、年齢構成を勘案し無作為に抽出した 3,000世帯

3. 調査事項

- ・山鹿市の現状について
- ・経済政策について
- ・人口政策について

4. 調査期間

平成30年1月12日～1月30日

5. 調査方法

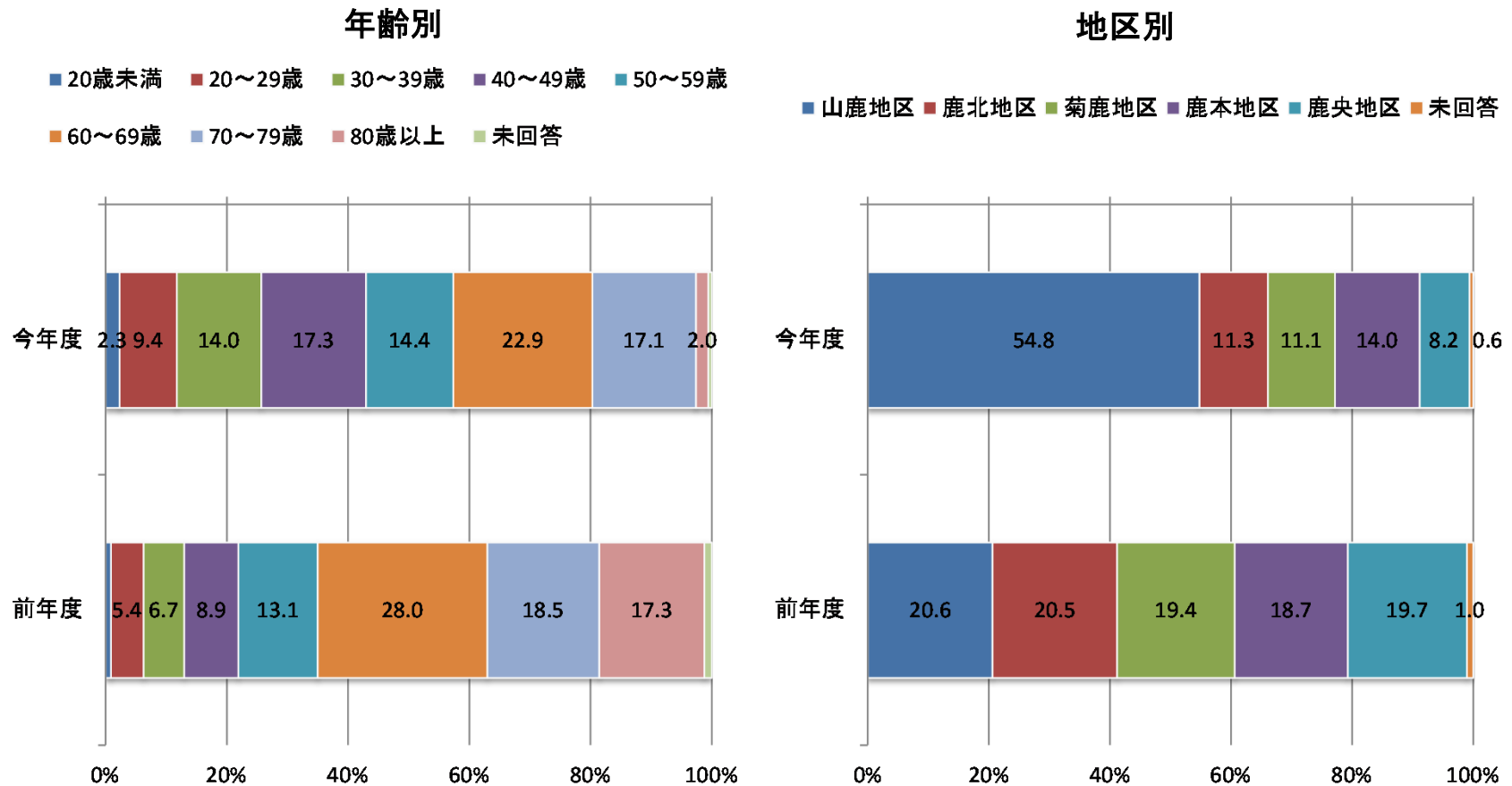
郵送によるアンケート調査

6. 回収状況

回収数 1,082先（回収率 36.1%）

回答者ご自身の現況

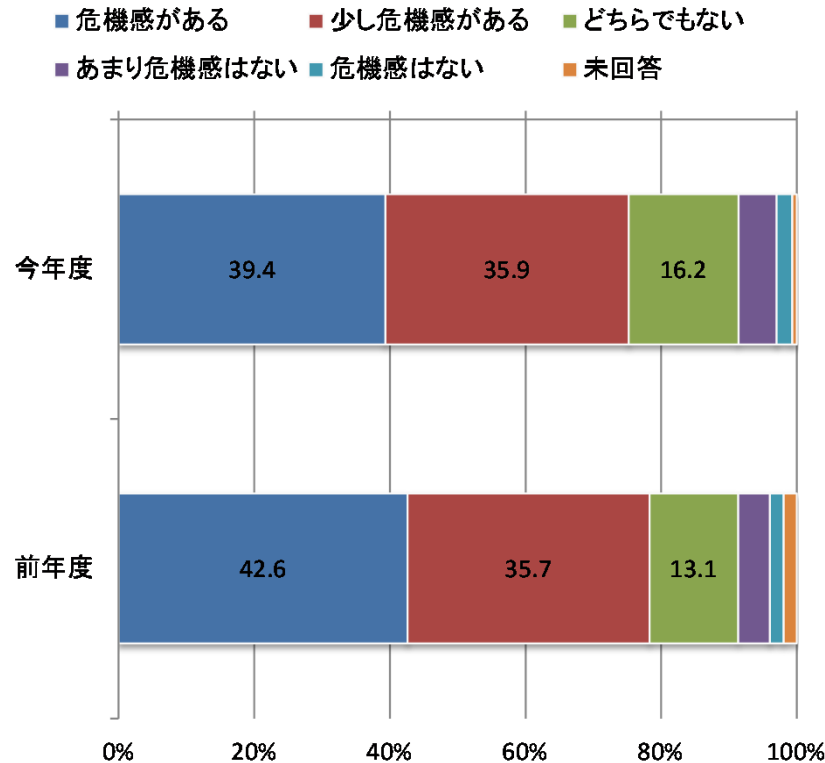
- ・年代別では、60代が22.9で最も多く、50代以上が半数を超える。
- ・地域別では、山鹿地区がほぼ半数を占める。
- ・前年度と比べ、年代では40代以下が、地区別では山鹿地区の割合が高くなっている。（対象抽出方法の変更によると思われる）



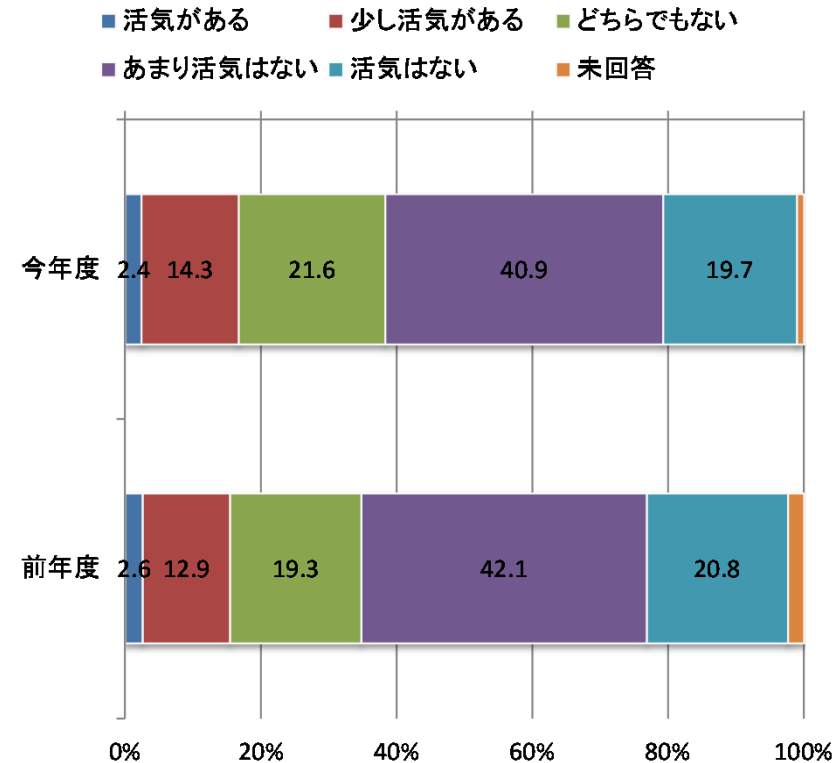
山鹿市の現状について(人口減少、元気度)

- ・山鹿市の人口減少に対しては、「危機感がある」が39.4%、「少し危機感がある」が35.9%と、合計で約75%の方が危機感を感じている。
- ・元気度について、「活気がある」「少し活気がある」の合計16.7%に対し、「あまり活気がない」「活気がない」の合計は60.6%である。
- ・どちらも前年度と比べ、あまり変わらない。

問6 山鹿市の人口減少について(全体)



問7 山鹿市の元気度について(全体)

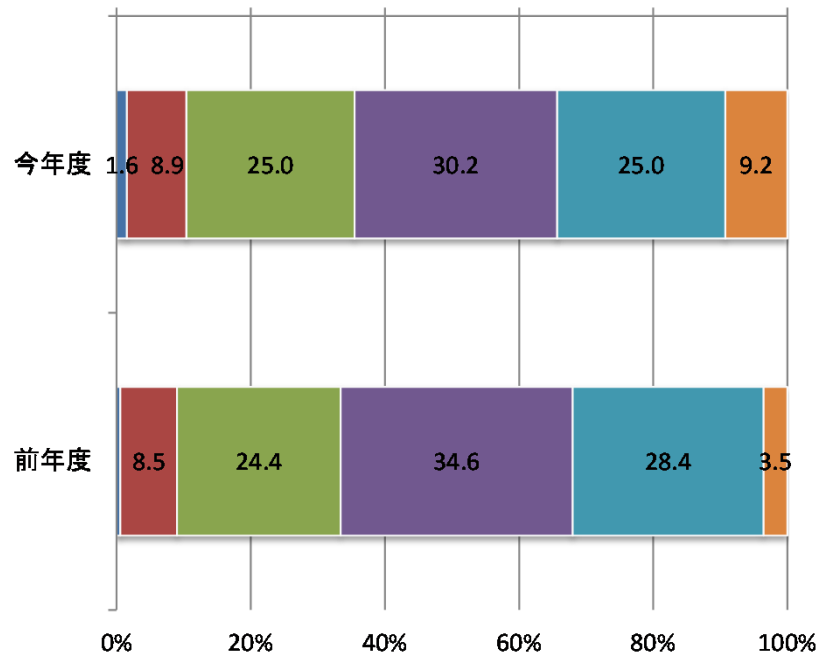


山鹿市の現状について(農林業、観光産業)

- ・農林業の現状について、「活気がある」「少し活気がある」の合計は10.5%で「少し衰退している」「衰退している」の合計は55.2%である。
- ・観光産業の現状について、「活気がある」「少し活気がある」の合計は27.7%で、「少し衰退している」「衰退している」の合計は39.9%である。
- ・前年度に比べ、「活気がある」「少し活気がある」の合計はどちらもあまり変わらない。

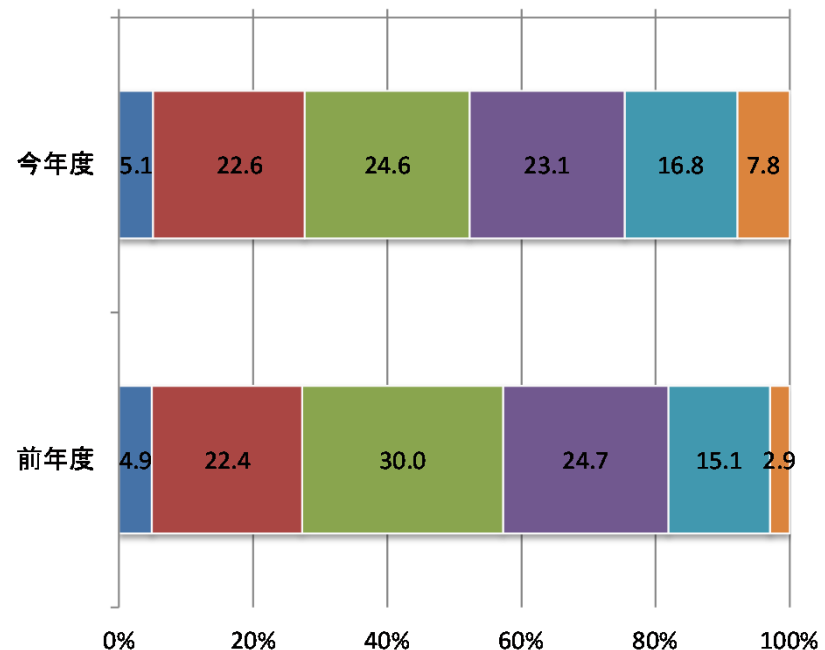
問8 山鹿市の基幹産業は農業ですが、現状についてどう思われますか(全体)

■ 活気がある ■ 少し活気がある ■ 変わらない
■ 少し衰退している ■ 衰退している ■ 未回答



問9 山鹿市は山鹿灯籠など観光産業の街として有名ですが、現状についてどう思われますか(全体)

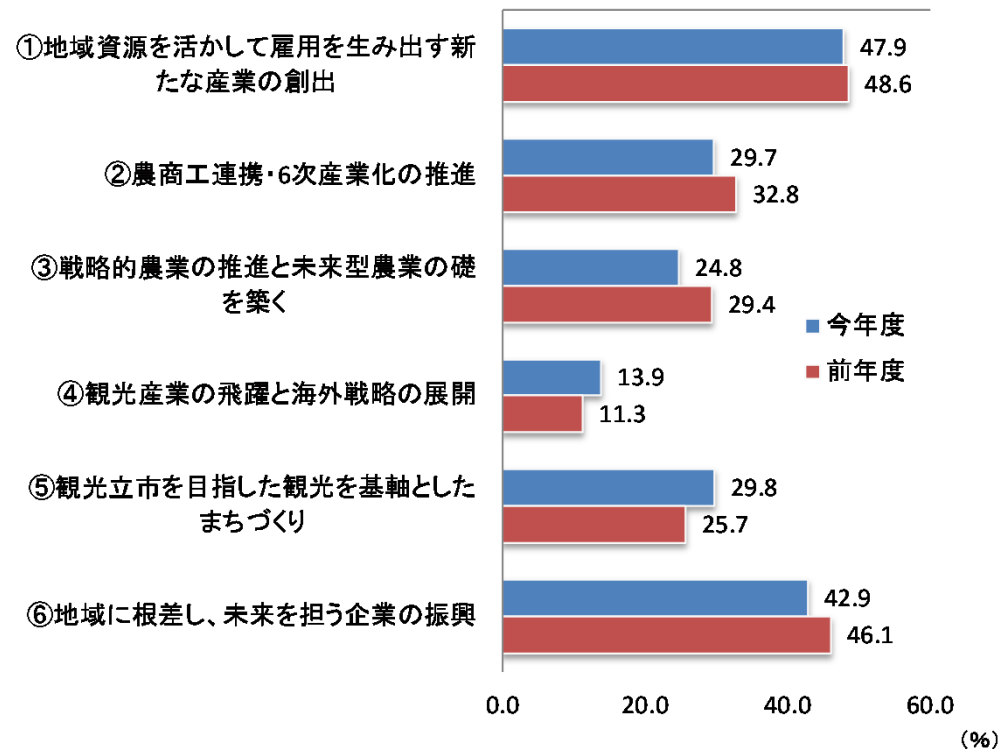
■ 活気がある ■ 少し活気がある ■ 変わらない
■ 少し衰退している ■ 衰退している ■ 未回答



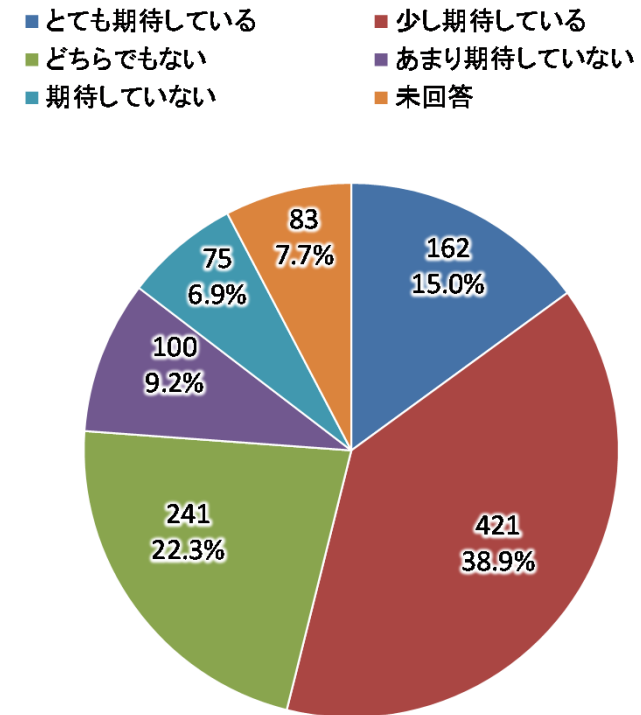
経済政策について(充実して欲しい取組、新シルク産業構想の期待度)

- ・経済政策で充実して欲しい取組では、最も多かったのは前年度と同じく「地域資源を活かして雇用を生み出す新たな産業の創出」である。
- ・新シルク産業構想の期待度について、「とても期待している」「少し期待している」の合計は53.9%と半数を超えている。

問10 山鹿市総合戦略の内、経済政策でもっと充実して欲しい取組について(全体)



問11 新シルク産業構想の期待度について(全体)

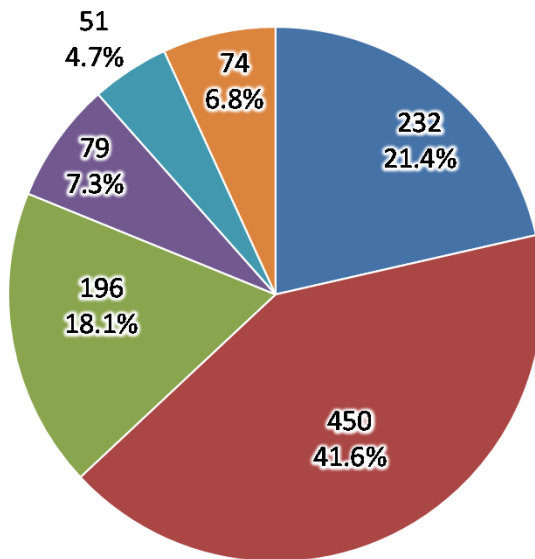


経済政策について(菊鹿ワイナリー構想・山鹿灯籠ジャパンブランド構想の期待度)

- ・菊鹿ワイナリー構想の期待度について、「とても期待している」「少し期待している」の合計は63.0%と6割を超えている。
- ・山鹿灯籠ジャパンブランド構想の期待度について、「とても期待している」「少し期待している」の合計は53.2%と半数を超えている。

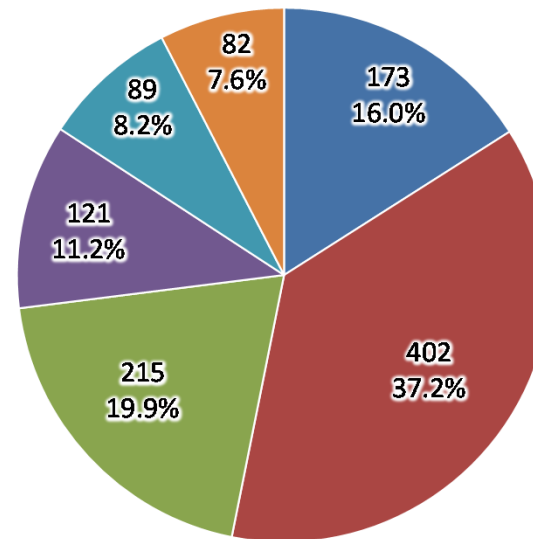
問12 菊鹿ワイナリー構想の期待度について
(全体)

■とても期待している ■少し期待している
■どちらでもない ■あまり期待していない
■期待していない ■未回答



問13 山鹿灯籠ジャパンブランド構想の期待度
について(全体)

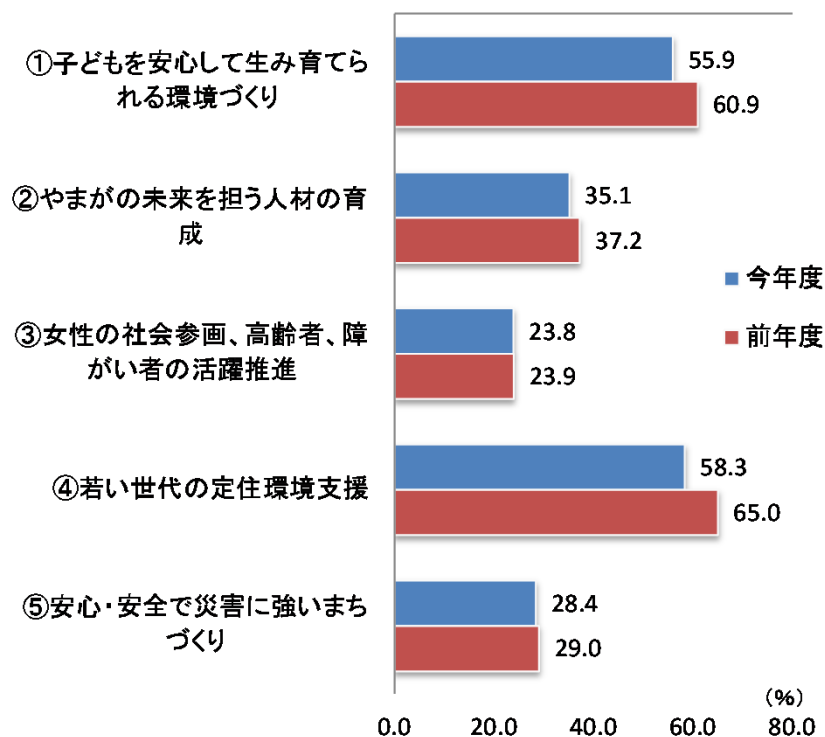
■とても期待している ■少し期待している
■どちらでもない ■あまり期待していない
■期待していない ■未回答



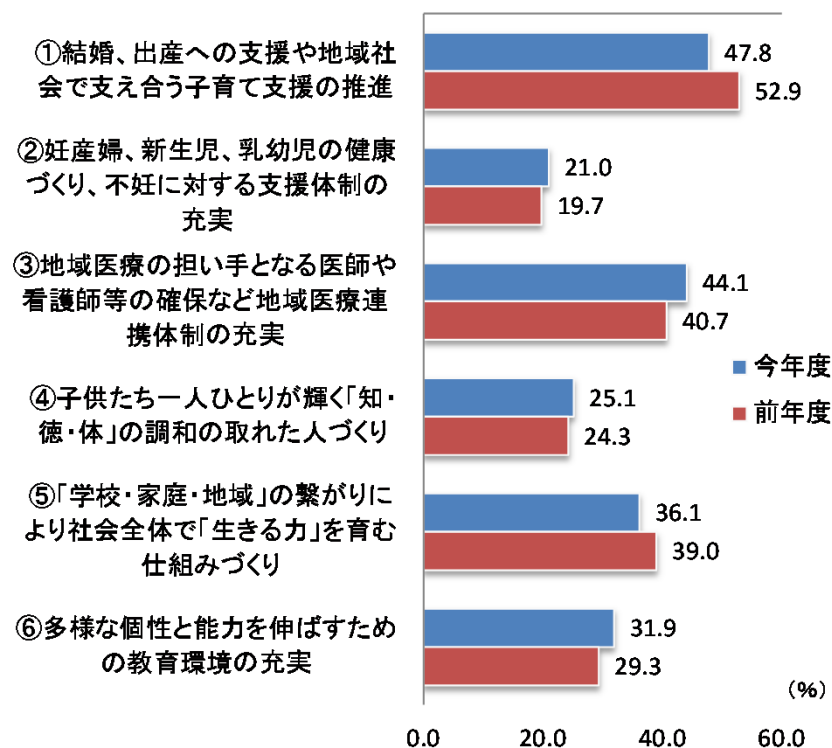
人口政策について(充実して欲しい取組)

- ・人口政策で充実すべき取組では、「若い世代の定住環境支援」が最も多い。
- ・子育て環境づくり・人材の育成で充実すべき取組では、「結婚・出産への支援や地域社会で支え合う子育て支援の推進」が最も多い。
- ・前年度と比べ、どちらもあまり変わらない。

問14 山鹿市総合戦略の内、人口政策でもっと充実して欲しい取組について(全体)



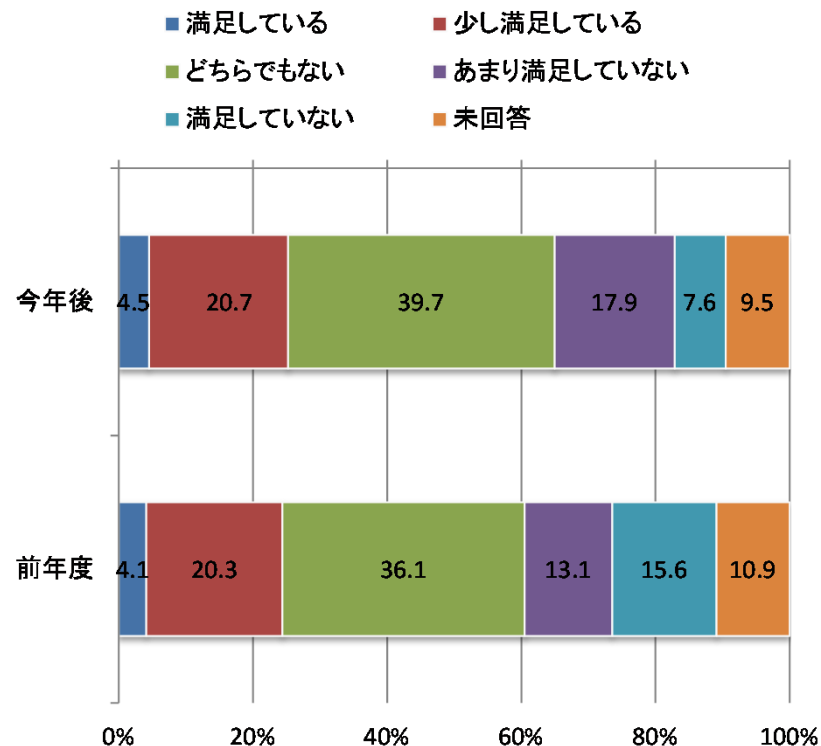
問15 子育て環境づくり・人材の育成でもっと充実して欲しい取組について(全体)



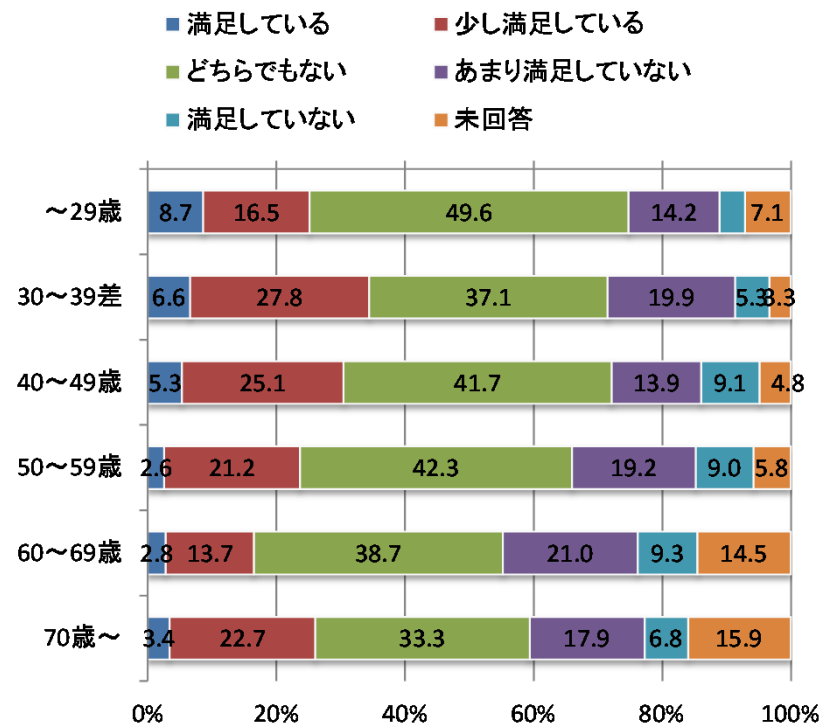
人口政策について(子育て環境の満足度)

- ・子供を安心して産み育てられる環境の満足度について、「満足している」「少し満足している」の合計は25.2%、「あまり満足していない」「満足していない」の合計は25.5%である。前年度と比べ、あまり変わらない。
- ・年代別では、30代の満足度が高い。

問16 子どもを安心して産み育てられる環境の満足度について(全体)



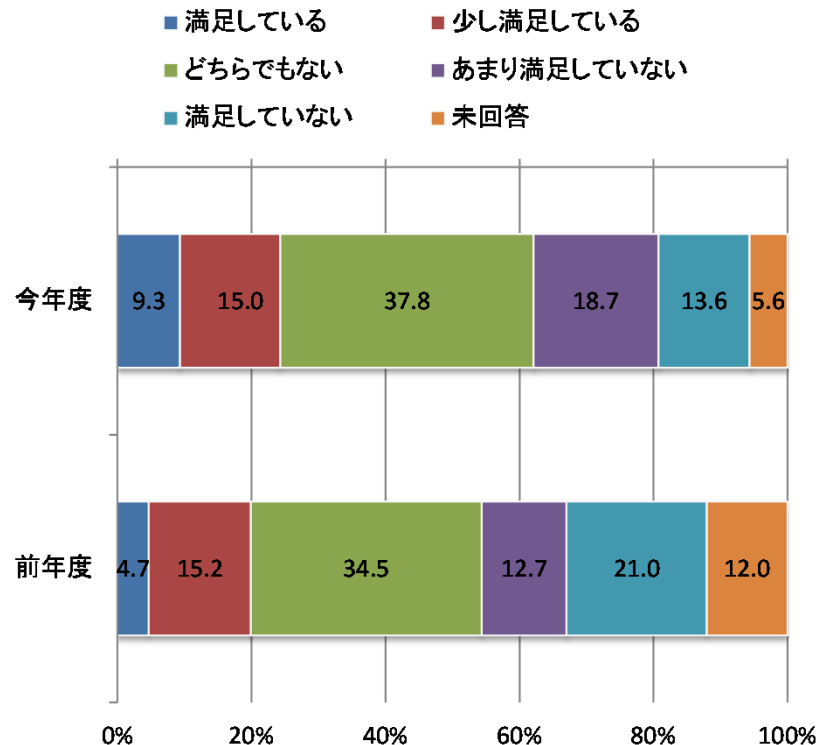
問16 子どもを安心して産み育てられる環境の満足度について(年代別)



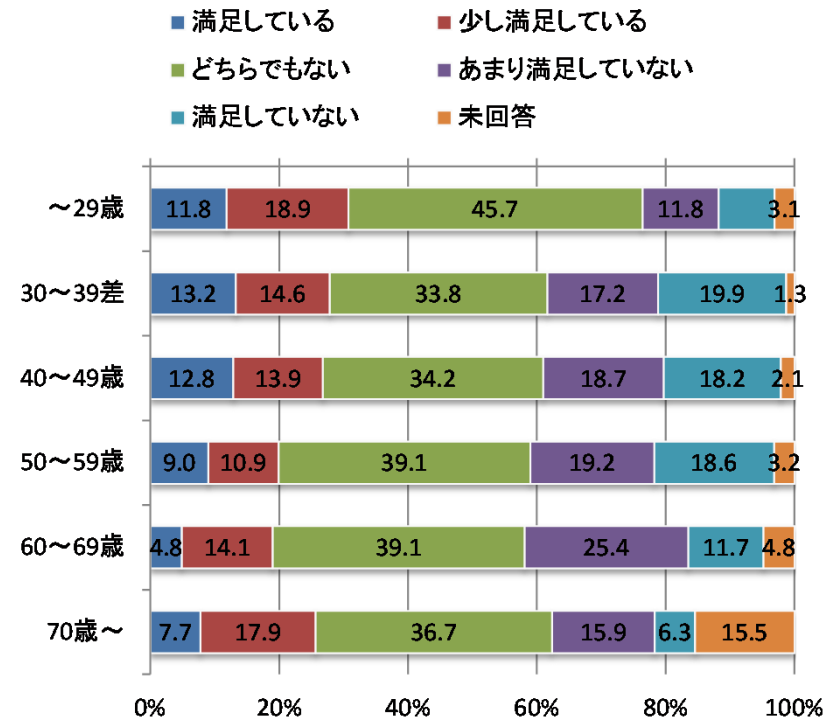
人口政策について(小児医療体制)

- ・小児医療体制について、「満足している」「少し満足している」の合計は24.3%で、「あまり満足していない」「満足していない」の合計は32.3%である。
- ・前年度と比べ、「満足」がやや増加している。
- ・年代別では、「満足している」「少し満足している」の合計は、20代以下が最も高く、30代、40代でやや高い。

問17 山鹿市における小児医療体制について(全体)



問17 山鹿市における小児医療体制について(年代別)

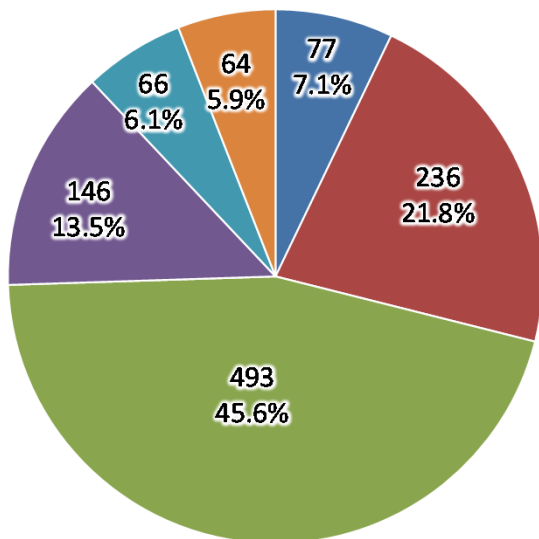


人口政策について(のびのびとたくましく学べる環境)

- ・学校教育について、「満足している」「少し満足している」の合計は28.9%で「あまり満足していない」「満足していない」の合計は19.6%である。
- ・年代別では、40代と70代以上で「満足している」「少し満足している」の合計が3割を超えている。

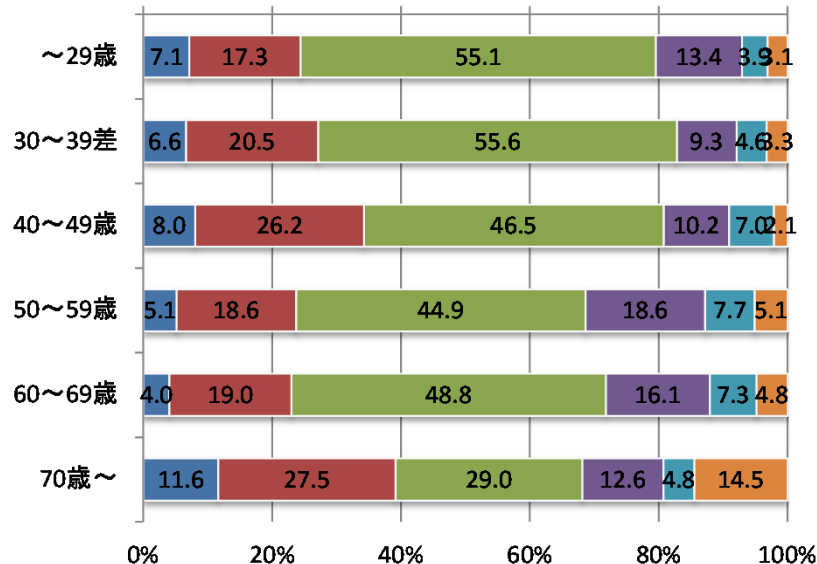
問18 現状の学校教育について、こどもたちが
のびのびとたくましく学べる環境(全体)

■ 満足している ■ 少し満足している
■ どちらでもない ■ あまり満足していない
■ 満足していない ■ 未回答



問18 現状の学校教育について、こどもたちが
のびのびとたくましく学べる環境(年代別)

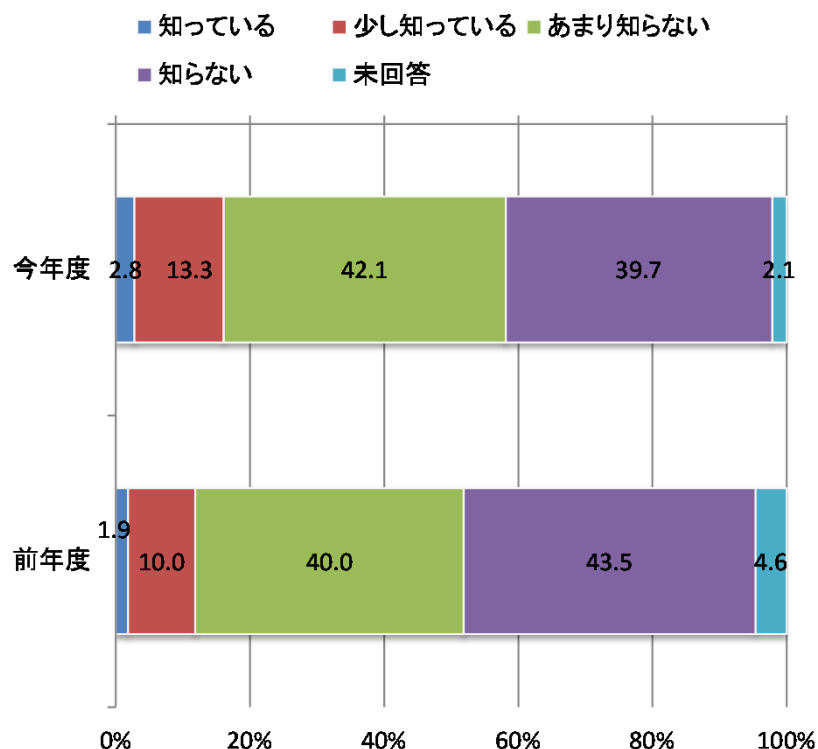
■ 満足している ■ 少し満足している
■ どちらでもない ■ あまり満足していない
■ 満足していない ■ 未回答



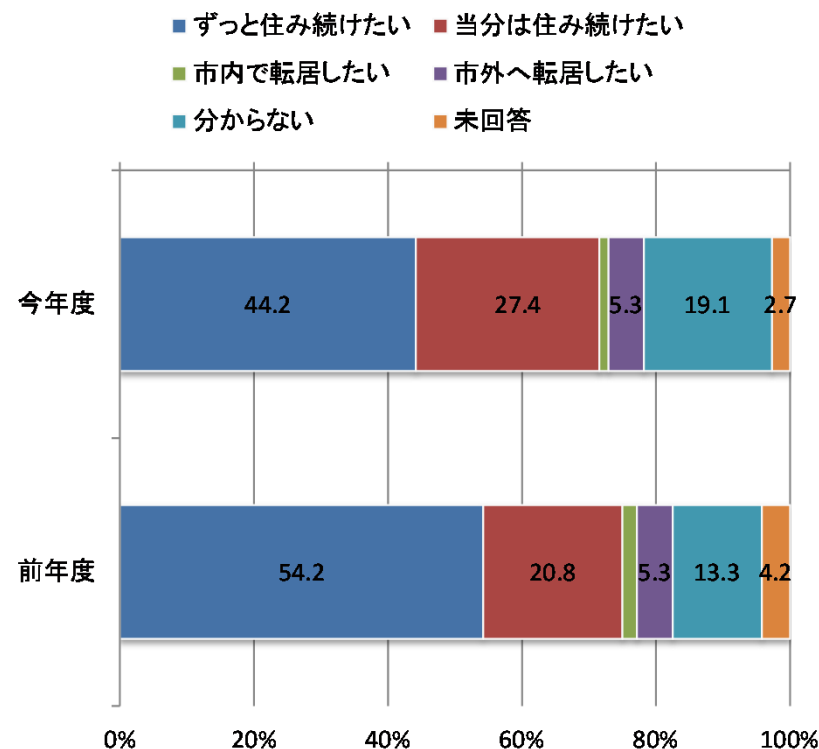
人口政策について(移住定住対策、今後の居住意向)

- ・移住定住対策について、「知っている」「少し知っている」の合計は16.1%で「あまり知らない」「知らない」の合計は81.8%である。
- ・今後も山鹿市での居住意向では、「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」の合計は71.6%で、「市内で転居したい」「市外へ転居したい」の合計は6.7%である。
- ・前年度と比べ、どちらもあまり変わらない。

問19 山鹿市が行う移住・定住対策について
(全体)



問20 今後も山鹿市に住み続けたいですか
(全体)



VII.【地方創生】市民アンケートの総括

＜山鹿市の現状について＞

- ・人口減少については約75%の方が危機感を感じておられ、前年度調査から大きな変化はなかった。50代以上の方は危機感が強い。
- ・山鹿市の元気度については、前年度同様、活気がない、あまり活気がないとの認識が6割に達する。
- ・観光産業の現状について、活気がある、少し活気があるとの認識は全体では3割弱であるが、20代以下では5割近くにのぼり、若い人の感性・感覚を取り込める可能性を感じた。

＜経済政策について＞

- ・新シルク産業構想、山鹿灯籠ジャパンプランド構想への期待度は5割を超え、菊鹿ワイナリー構想への期待度は6割を超えており、期待されているのを感じた。
- ・地区別では、菊鹿地区と鹿本地区の期待度が比較的高く、拠点となる可能性が感じられた。
- ・経済政策では、前年度同様、新しい産業の創出、企業の振興が望まれていた。

＜人口政策について＞

- ・人口政策では、前年度同様、若い世代の定住環境支援が最も多く、経済政策と合わせ、若者の働く場を確保し、市外への流出防止を望む声が多かった。
- ・子育て環境や小児医療体制、学校教育については、満足度と不満足とが各々2～3割程度で、評価されている一方、さらなる改善が望まれていることが感じられた。
- ・子育て世代では、満足度は全体よりも高く、評価されているのを感じられたが、小児医療体制については、自由回答に夜間や休日の診療体制整備を望む声が多かった。
- ・移住定住策等の認知度は2割弱で、市の施策をもっとPRしていく必要性が感じられた。
- ・今後も山鹿市に住み続けたいという方が7割超と多数であり、年代が高いほどその気持ち強いことが感じられた。